

計画事業名	蒲田駅周辺のまちづくり						
主な取組内容	世界への玄関口となる羽田空港を活用し、大田区を中心拠点にふさわしい魅力と活力あるまち蒲田をめざします。そのため、交通結節機能*を充実し、都市機能を更新するとともに、まちの安全や景観の向上に取り組みます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
将来構想の調整・策定		→					
将来構想の計画的実施			→	→	→	→	検証
旧逆川の整備		→	→	→	→	→	完了

所管部局	まちづくり推進部、都市基盤整備部	
平成 21 年度の取り組み内容		進ちょく状況
<b>【将来構想の調整・策定】</b> グランドデザインを策定するため、庁内検討会（5 回）、学識者検討委員会（3 回）、地元意見交換会（3 回）、蒲田のまちづくりワークショップ（1 回）を開催し、素案を作成しました。 素案についての地元説明会、パブリックコメントを実施（意見数 17 件）し、平成 22 年 3 月に「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」を策定しました。		4
<b>【旧逆川の整備】</b> 庁内検討会（2 回）及び説明会（参加者 45 人）を開催しました。		4
決算額	12,042,331 円	
次年度以降の主な取り組み	将来構想実現のため、庁内推進組織を設置し、「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」のアクションプランを推進します。 グランドデザインで課題としている蒲田駅を中心とする地区におけるハード面の整備を推進するため、検討組織を設置し、整備計画策定に向けて調査・研究を行います。調査・研究の報告を踏まえ、関係事業者、地権者、地元関係者の意見等を反映させ、蒲田駅周辺整備計画を策定します。 旧逆川の整備については、地元住民を交えた検討会を実施し、旧逆川整備計画案を策定します。	

<b>計画事業名</b>	<b>大森駅周辺のまちづくり</b>						
<b>主な取組内容</b>	歴史と文化と浜風のかおる、にぎわいと交流のあふれるまち大森をめざした駅周辺のまちづくりを推進します。(仮称)大森北一丁目開発により、区有地を有効に活用し、大森のまちのにぎわいを創出する拠点として複合施設を整備します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
基本調査による将来構想(案)の検討・策定		→					
将来構想の調整・策定			→				
将来構想の計画的実施				→			検証
(仮称) 大森北一丁目開発	民間事業者による複合施設の建設	→					
	民間事業者による複合施設の管理運営			→			継続

<b>所管部局</b>	<b>まちづくり推進部</b>	
<b>平成 21 年度の取り組み内容</b>	<b>進ちょく状況</b>	
<b>【基本調査による将来構想(案)の検討・策定】</b> 庁内検討会(4回)学識者検討委員会(3回)を開催し、「大森駅周辺地区ランドデザイン」の策定に向けた検討を行い、平成22年3月に基本調査報告書を作成しました。	<b>4</b>	
<b>【(仮称)大森北一丁目開発 - 民間事業者による複合施設の建設】</b> 入新井複合施設協議会や公共施設住民説明会(参加者45人)を開催しました。 既存駐車場解体工事・地中障害撤去工事を完了し、平成21年7月に本体建設に着工しました。	<b>4</b>	
<b>決算額</b>	176,394,299 円	
<b>次年度以降の主な取り組み</b>	将来構想については、地元意見交換会、庁内検討会、学識者検討委員会等を開催し、課題・具体的取組み(アクションプラン)の検討・精査を進め、平成22年度中を目途に「大森駅周辺地区ランドデザイン」を策定します。 (仮称)大森北一丁目開発については、平成23年3月に予定している施設のオープンに向け、区活用部分内装工事や建物賃貸借契約・管理規約の締結等、必要な準備を進めます。	

計画事業名	身近な地域の魅力づくり						
主な取組内容	私鉄主要駅周辺において、歴史・文化・産業などの地域の特性を活かした魅力と活力がみなぎるまちを推進するため、安全で快適な歩行空間を確保し、地域活性の拠点となる整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
地域まちづくり拠点整備		→					継続

所管部局	まちづくり推進部、都市基盤整備部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちよく状況	
<b>【地域まちづくり拠点整備】</b> 「人と緑と文化の調和するまち」をめざした大岡山駅周辺地区の整備を進めるため、区画街路第 1 号線の用地(387.31 m <sup>2</sup> )を土地開発公社から購入し、平成 21 年 6 月に蓋掛け工事に着工しました。	4	
決算額	0 円	
次年度以降の主な取り組み	区画街路第 1 号線の用地取得及び整備を、継続して推進します。	

当事業の内容は、別の未来プラン事業である「都市計画道路の整備」(P.60)の一部と同様です。したがって、決算額の重複を避けるため 0 円としています。

計画事業名	京浜急行線連続立体交差事業における駅周辺のまちづくり						
主な取組内容	京浜急行線連続立体交差事業を契機に、京急蒲田駅西口、糎谷駅前及び雑色駅の周辺地区において、駅前環境や住・商業環境の整備、防災機能の向上等を図るため、市街地再開発事業*等による整備を目標とする、関係権利者組織の活動を支援します。あわせて、駅前拠点の整備における公共サービスの提供について、方針や可能性などの検討を行います。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
再開発等事業化支援(3地区)							完了 (26年度)
公共サービス提供に関する検討							

所管部局	連続立体事業本部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちよく状況	
<p>【再開発等事業化支援（3地区）】</p> <p>京急蒲田駅西口周辺地区については、駅前準備組合に基本設計等に関する費用の一部助成を実施したほか、京急蒲田西口地区まちづくり研究会にコンサルタント支援を、まちづくり研究会ほか 2 団体に団体活動費の助成を実施しました。</p> <p>糎谷駅周辺地区については、本組合の設立に向けて準備組合の支援等を行いました。</p> <p>雑色駅周辺地区については、雑色駅周辺地区まちづくり研究会に、コンサルタント支援及び団体活動費の助成を行いました。</p>	4	
<p>【公共サービス提供に関する検討】</p> <p>京急蒲田駅西口周辺地区では、再開発ビルの基本設計作業にあわせ、公共サービス機能の配置を含む商業・業務床の構成について、概略の検討を行いました。また、再開発事業における公共自転車駐車場の設置の可能性について、検討を行いました。</p> <p>糎谷周辺地区では、公共自転車駐車場と防災倉庫等について、概略の検討を行いました。</p>	4	

決算額	259,013,476 円
次年度以降の主な取り組み	
<p>再開発事業については、事業進捗よくに応じた支援を引き続き行うとともに、必要な財源の確保に努めます。また、関係権利者によるまちづくり活動についても、引き続き支援していきます。</p> <p>公共サービス検討については、再開発事業を始めとするまちづくり事業の中で、地区特性に応じた公共サービス提供を実現すべく、機能や運営主体等を含めた検討を引き続き行います。</p>	

<b>計画事業名</b>		京浜急行線連続立体交差事業の推進						
<b>主な取組内容</b>		京浜急行線の連続立体交差化により28箇所の踏切を除去し、交通渋滞の解消や、鉄道による地域分断の改善により、まちの活性化や魅力あるまちづくりを推進します。また、本線と空港線が分岐する京急蒲田駅の総合的な改善も行います。あわせて、高架下空間の利用、交差道路の整備についても具体化を進めます。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
鉄道高架化	用地取得		→					
	工事		→	→	→	→		
交差道路・側道整備工事					→	→	→	完了 (26年度)

所管部局	連続立体事業本部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちよく状況	
【鉄道高架化 - 用地取得】 連続立体交差事業に必要な事業用地を取得しました。	4	
【鉄道高架化 - 工事】 都市計画事業である連続立体交差事業の負担金を東京都に支出し、上り線全線の高架化が完了しました。 京急蒲田駅のバリアフリー化や利便性の向上を図るため、開発事業者 に京急蒲田駅総合改善事業の補助金として工事費の一部助成を実施 しました。	4	
決算額	3,740,020,983 円	
次年度以降の主な取り組み		
平成 22 年度に、京急蒲田駅（環状 8 号線）付近において、下り線の仮高架化を実施します。 平成 24 年度上下線高架化、平成 26 年度事業完了をめざします。		

計画事業名	新空港線「蒲蒲線」*の整備促進						
主な取組内容	区民の利便性向上と国際化する羽田空港へのアクセス機能を高めるため、JF・東急蒲田駅と京急蒲田駅を結ぶ、新空港線「蒲蒲線」の整備を促進していきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
整備事業化に向けた検討		→					
関係機関との協議、調整				→			継続
区民協議会と連携した促進活動		→					継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 21 年度の取り組み内容		進ちょく状況
<b>【整備事業化に向けた検討】</b> 新空港線「蒲蒲線」の整備促進に向け、平成 19・20 年度に実施した調査の結果を交通問題調査特別委員会へ報告し、公表しました。 国、東京都、区、鉄道事業者等で構成する勉強会（4 回）を開催しました。 羽田空港の国際化、深夜早朝時間帯発着枠拡大計画等を反映した需要予測及び路線計画・施設計画の深度化を踏まえ、事業実現性等を検討し、現在想定している条件下では一定の事業性があることを確認しました。		4
<b>【区民協議会と連携した促進活動】</b> 整備促進に向け、東京都等関係機関に対して協力要請を行いました。		4
決算額	15,000,000 円	
次年度以降の主な取り組み	新空港線「蒲蒲線」の整備促進に向け、関係者の協力を得ながら調査の深度化を図ります。 区民への周知や関係者への働きかけ等、整備促進に向けた活動を行います。	

計画事業名		都市計画道路の整備						
主な取組内容		主要幹線道路間の交通円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保するため、街路整備を推進します。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
区画街路第1号線	用地取得・整備	→						継続
補助44号線その2	用地取得・整備・測量	→						残路線事業着手
補助43号線	用地取得・測量	→						残路線事業着手

所管部局	都市基盤整備部	
平成 21 年度の取組み内容	進ちょく状況	
<b>【区画街路第 1 号線 - 用地取得・整備】</b> 区画街路第 1 号線の用地 ( 387.31 m <sup>2</sup> ) を土地開発公社から購入し、平成 21 年 6 月、蓋掛け工事に着工しました。	4	
<b>【補助 44 号線その 2 - 用地取得・整備・測量】</b> 期地の用地 ( 193.52 m <sup>2</sup> ) を土地開発公社から購入したほか、 期地の用地 ( 8.09 m <sup>2</sup> ) 及び 期地の用地 ( 94.46 m <sup>2</sup> ) を土地開発公社で先行取得しました。 22 年 3 月に 期地の実施設計を完了しました。	4	
<b>【補助 43 号線 - 用地取得・測量】</b> 基本設計・用地測量を完了しました。	4	
決算額	993,935,866 円	
次年度以降の主な取組み		
3 路線の用地取得・整備等を継続して推進します。		

計画事業名	コミュニティバス*の導入検討、運行支援						
主な取組内容	区内交通不便地域を解消するため、地域が支えるコミュニティバスの導入を検討するとともに、運行を支援します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
試行運行・運行検証		1地区					
運行支援							検証
導入検証結果を踏まえて運行計画の策定							検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちよく状況	
<p>【試験運行・運行検証】</p> <p>平成 21 年 10 月から矢口地域においてコミュニティバスの運行を開始しました。</p> <p>平成 21 年度の乗車人員は 19,323 人、1 便あたりの平均乗車人員は 7.4 人でした。</p> <p>導入にあたって、住民や福祉関係者、国、交通管理者、道路管理者、交通事業者、学識経験者、区による「大田区コミュニティバス矢口地域検討会・作業部会」(6 回)を開催し、運行計画案を作成しました。</p> <p>バスの愛称・イメージキャラクターを公募(応募総数 282 件)し、住民、運行事業候補者、区による「大田区コミュニティバス矢口地域愛称等検討委員会」において、愛称「たまちゃんバス」とイメージキャラクターを決定しました。</p> <p>平成 21 年 8 月に、検討会を法定の地域公共交通会議「大田区コミュニティバス等検討会議」に移行し、計画案の決定及び利用促進等の検討を行いました。</p> <p>運行開始後には、利用状況や需要動向等を調査し、今後の課題を整理するため、運行検証を実施しました。</p>	4	
決算額	29,577,446 円	
次年度以降の主な取り組み	運行支援、導入検証結果を踏まえて、運行計画の策定・検証を行います。	

計画事業名	自転車駐車場の整備						
主な取組内容	自転車等駐車場を整備し、緊急車両や歩行者などの通行の妨げになっている放置自転車をなくし、安全で安心な魅力あるまちづくりを推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
8駅の自転車等利用実態調査を基に駐車場の検討、推進		→					
自転車等駐車場の整備検討		→					継続
(仮称)大森北一丁目開発による自転車等駐車場設置			→				
京浜急行連続立体交差事業高架下自転車駐車場設置			→				継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちょく状況	
<b>【8駅の自転車等利用実態調査を基に駐車場の検討、推進】</b> 大森海岸駅前臨時(自転車 138 台) 流通センター駅前(自転車 84 台、バイク 18 台) 雪が谷大塚駅前(自転車 185 台) 石川台駅前(自転車 250 台)における自転車等駐車場の新設に向け準備を行いました。田園調布駅南、長原駅前等の各自転車等駐車場の改良等を行いました。	4	
<b>【自転車等駐車場の整備検討】</b> (仮称)入新井西公園自転車等駐車場整備の計画検討用調査、図面資料等作成の委託を行いました。	4	
決算額	160,479,032 円	
次年度以降の主な取り組み		
(仮称)大森北一丁目開発による自転車等駐車場の設置を行います。高架下自転車駐車場設置に向けた調整を行います。		

計画事業名	京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備						
主な取組内容	京浜急行線の連続立体交差化に伴い、ゆとりある歩行者空間を持つ駅前広場やアクセス*道路等を整備し、京浜急行沿線の魅力あふれるまちづくりを推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
用地取得		→					
アクセス道路等の整備		→					完了 (26年度)
京急蒲田駅東口駅前広場の整備						→	完了 (26年度)

所管部局	連続立体事業本部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちよく状況	
<b>【用地取得】</b> 関連街路用地を 10 画地 (607.49 m <sup>2</sup> ) 取得し、用地契約率が 88% となりました。 東京都受託分の関連街路用地は 2 画地 (24.7 m <sup>2</sup> ) 取得し、受託分用地契約率は 96% となりました。	4	
<b>【アクセス道路等の整備】</b> 弾正橋架替のための詳細設計と京急蒲田駅周辺の電線共同溝整備のための予備設計を行いました。 東京都からの受託事業として、土壌汚染調査を行いました。	4	
決算額	1,138,337,114 円	
次年度以降の主な取り組み	用地取得について、関連街路用地は土地収用法の適用も踏まえて 100% 取得をめざします。東京都受託分の関連街路用地についても、100% 取得をめざします。 アクセス道路等の整備については、引き続き関連側道・アクセス道路整備のための調査・設計を進めるとともに、平成 23 年度以降、整備工事を実施します。	

計画事業名		公園の整備						
主な取組内容		地域環境の改善を図り、防災面での安全性を高め、区民の余暇活動や健康増進に寄与するために、都市に潤いをもたらす公園緑地の整備、拡張を進めます。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
丸子多摩川公園	用地取得・整備		→					完了
東糀谷四丁目公園	整備		→					
東蒲田公園	整備		→					
(仮称)中央五丁目公園	用地取得・整備		→					完了
(仮称)南馬込二丁目公園	用地取得・整備		→					
一般公園	用地取得・整備		→					検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちょく状況	
<b>【丸子多摩川公園 - 用地取得・整備】</b> 田園調布せせらぎ公園は、既存受水槽撤去、広場整備工事を実施しました。 未来プランに記載している公園の名称を下記のとおり変更しました。 (変更前)「丸子多摩川公園」 (変更後)「田園調布せせらぎ公園」	4	
<b>【東糀谷四丁目公園 - 整備】</b> 東糀谷防災公園の一期工事として多目的広場、園路、駐車場、流れ、ビオトープ池、防火貯水槽等の整備工事を実施しました。 二期工事分の実施設計委託を行いました。 未来プランに記載している公園の名称を下記のとおり変更しました。 (変更前)「東糀谷四丁目公園」 (変更後)「東糀谷防災公園」	4	
<b>【東蒲田公園 - 整備】</b> 当初の予定のとおり、整備内容について、関係部局間で調整を行いました。	4	
<b>【(仮称)中央五丁目公園 - 用地取得・整備】</b> 基本計画、基本・実施設計委託を行いました。 未来プランに記載している公園の名称を下記のとおり変更しました。 (変更前)「(仮称)中央五丁目公園」 (変更後)「(仮称)中央五丁目緑地」	4	

<p>【(仮称)南馬込二丁目公園 - 用地取得・整備】</p> <p>基本計画、基本・実施設計委託を行いました。</p> <p>未来プランに記載している公園の名称を下記のとおり変更しました。</p> <p>(変更前)「(仮称)南馬込二丁目公園」 (変更後)「(仮称)南馬込二丁目緑地」</p>	4
<p>【一般公園 - 用地取得・整備】</p> <p>平張児童公園の改良工事(増設)の基本計画、基本・実施設計委託を行い、広場、スロープ、入口改修等の整備工事を実施しました。</p>	4
決算額	363,855,099 円
次年度以降の主な取り組み	
都市計画公園及び一般公園の用地取得・整備を継続して推進します。	

計画事業名	魅力ある公園のリニューアル						
主な取組内容	安全で使いやすい公園とするために、バリアフリー*化を進めます。また、幅広い世代が交流できる場として、高齢者向けの健康遊具*の設置や遊具・設備を更新するとともに、防災機能の向上も図りながら公園をリニューアルします。このほか、魅力ある豊かな自然環境を確保するため、公園緑地の整備や桜の樹木更新などを進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
大規模公園のバリアフリー化		→ (10箇所/5年)					検証
健康遊具設置		→ (1箇所/年)					
遊具改修		→ (8箇所/年)					検証
桜の保全・更新		→					検証

所管部局	都市基盤管理部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちょく状況	
【大規模公園のバリアフリー化】 萩中公園、平和の森公園、都堀公園、南六郷緑地、南六郷公園の設計を完了し、萩中公園、南六郷緑地、南六郷公園の工事を完了しました。	4	
【健康遊具設置】 本門寺公園に健康遊具を設置しました。	4	
【遊具改修】 鶴渡公園、文化児童公園、観音通り児童公園、東嶺公園、鶉の木三丁目公園、西蒲田太平橋児童公園、西一中央児童公園、大森南四丁目公園の遊具改修を行いました。	4	
【桜の保全・更新】 洗足池公園における桜樹木診断調査を完了しました。	4	
決算額	142,404,121 円	
次年度以降の主な取り組み	公園のバリアフリー化、健康遊具設置等の各事業を継続して推進します。	

計画事業名	呑川緑道の整備						
主な取組内容	呑川の側道に街路樹を植樹するほか、護岸の壁面緑化*を行います。また、路面温度上昇を抑制するため、遮熱性舗装*などで散策路を整備します。 このほか、沿川の歴史と環境を活かした観光スポットとしての観点からサイン計画を策定し、散策路にサインを設置していきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
橋詰部等用地取得		→					
緑道整備			(1500m/5年)				検証
サイン整備			→				検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成21年度の取組み内容		進ちよく状況
【橋詰部等用地取得】 未広橋児童公園拡張用地（161.07㎡）の取得を行いました。		4
【緑道整備】 緑道整備工事（345m）及び整備設計（720m）を完了しました。		4
決算額	114,264,150円	
次年度以降の主な取組み	サイン整備について、スケジュールを前倒して、基本計画の検討に着手します。	

計画事業名	桜のプロムナード*の整備						
主な取組内容	水と緑のネットワークの充実を図るため、洗足流れ・馬込桜並木・内川に至る道路を散策路として整備するとともに、サイン整備を進めていきます。また、馬込桜並木の桜再生(枯損木植替え)を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
散策路整備		→ (800m / 5年)					検証
桜の保全・更新		→					検証
サイン整備			→				検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちよく状況	
【散策路整備】 山王三丁目地先（84m）の散策路整備工事を完了しました。	4	
【桜の保全・更新】 馬込桜並木の改修実施設計（525m）を完了しました。	4	
決算額	19,467,000 円	
次年度以降の取り組み	サイン整備について、スケジュールを前倒して、基本計画の検討に着手します。	

計画事業名	鉄道駅舎のバリアフリー化の推進						
主な取組内容	区内鉄道駅舎のバリアフリー化のためエレベーターが必要な駅舎への設置支援を推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
エレベーター設置支援		→					

所管部局	まちづくり推進部、連続立体事業本部	
平成 21 年度の取り組み内容		進ちよく状況
<p>【エレベーター設置支援】</p> <p>京急平和島駅、穴守稲荷駅について、エレベーター設置費の一部助成を実施しました。</p> <p>モノレール天空橋駅については、事業者から今後のバリアフリー化の方向性等のヒアリングを行いました。</p> <p>現在バリアフリー化を検討中又は工事中の馬込駅・西馬込駅については、検討状況や工事概要に関する事業者ヒアリングを行いました。</p>		4
決算額	112,427,000 円	
次年度以降の主な取り組み	<p>京急天空橋駅について、エレベーター設置費の一部助成を実施します。</p> <p>現在バリアフリー化を検討中の駅（西馬込駅）及び未整備の駅（モノレール天空橋駅他）について、整備に向けて事業者と情報交換等を行います。</p>	

計画事業名	自転車等利用総合対策						
主な取組内容	地球環境にやさしい自転車の利用などについて、区民や鉄道事業者など関係機関と連携・強化を図り、駅周辺の放置自転車や利用者に対する交通ルールの遵守、交通マナーの向上などの対策を協議し、安全で安心なまちづくりを推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
自転車等利用総合基本計画	協議会開催、検討	→					
	検討、策定		→				
事業推進スケジュール検討・調整				→			継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちよく状況	
<p>【自転車等利用総合基本計画 - 協議会開催、検討】</p> <p>区民、鉄道事業者、学識経験者等で構成する自転車等駐車対策協議会（5回）を開催し、「とめる」「はしる」「まもる」を基本に自転車対策を検討しました。</p> <p>「自転車利用実態・意識調査」（対象者 3,000 人）を実施し、実態把握及び傾向分析を行いました。</p>	4	
決算額	13,307,300 円	
次年度以降の主な取り組み	協議会の検討結果を基に、自転車等利用総合基本計画を策定します。	

計画事業名		だれでもトイレの整備						
主な取組内容		道路や公園などにある公共トイレ(公衆便所や公園便所の一部)の改築や新設にあわせて、誰もが使いやすい「だれでもトイレ」の整備を進めます。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
だれでもトイレの整備	改築	→ 継続						
	新設	→ 継続						

所管部局	都市基盤整備部	
平成 21 年度の取り組み内容		進ちよく状況
【だれでもトイレの整備 - 改築】 まごめばし児童公園、大森西一丁目児童公園、上池台射水坂公園、東蒲田二丁目公園、萩中公園、舞の浦児童公園、大森仲町児童公園において「だれでもトイレ」の改築工事を完了しました。		4
【だれでもトイレの整備 - 新設】 東中公園、東糞谷防災公園の新設工事を完了しました。		4
決算額	196,795,966 円	
次年度以降の主な取り組み		
だれでもトイレの利用圏域が区内全体をカバーできるよう、だれでもトイレの改築・新築の整備を推進します。		

計画事業名	橋梁の耐震性の向上						
主な取組内容	区が管理する橋梁の中で、緊急道路障害物除去路線*や鉄道を跨ぐ橋梁など防災上重要な橋梁は、計画的に架替・耐震補強整備を進め、災害に強いまちづくりを推進します(優先対策橋梁53橋)。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
架替・耐震補強整備		優先対策橋梁のうち31橋完了					検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちよく状況	
<p>【架替・耐震補強整備】</p> <p>災害時の緊急道路障害物除去路線（啓開道路）や鉄道を跨ぐ橋梁等の耐震整備を行いました。</p> <p>設計が完了したのは 6 橋（新馬込橋、本村橋、大森東避難橋、山王道・宮前・外川田跨線人道橋）、工事が完了したのは 1 橋（桜橋）です。</p>	4	
決算額	281,824,901 円	
次年度以降の主な取り組み	優先対策橋梁 53 橋の整備完了をめざして、耐震性能の向上を図っていきます。	

<b>計画事業名</b>	<b>にぎわいのある文化交流拠点の整備</b>						
<b>主な取組内容</b>	国内外の多様な文化圏の相互交流を通じてにぎわいを創出する施設を整備します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地利用OTA基本プランに基づいた事業化の検討、実施		→					継続
関係機関との連絡調整		→					継続

<b>計画事業名</b>	<b>世界へ発信する産業支援拠点の整備</b>						
<b>主な取組内容</b>	基盤技術*の集積を誇る製造業などの区内産業の新市場開拓などに寄与する施設を整備します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地利用OTA基本プランに基づいた事業化の検討、実施		→					継続
関係機関との連絡調整		→					継続

<b>計画事業名</b>	<b>水と緑のふれあいゾーンの整備</b>						
<b>主な取組内容</b>	市街地に隣接した親水及び緑地空間を創出して、環境との共生をめざし、潤いやすらぎのスペースを整備します。あわせて、地域の防災機能の強化を図る空間としての活用を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地利用OTA基本プランに基づいた事業化の検討、実施		→					継続
関係機関との連絡調整		→					継続

<b>所管部局</b>	経営管理部	
<b>平成 21 年度の取り組み内容</b>	進ちょく状況	
【羽田空港跡地利用 OTA 基本プランに基づいた事業化の検討、実施】 空港跡地第 1 ゾーンの土地利用の具体化を図る「(仮称)羽田空港跡地整備計画」の策定に向け委託契約を締結し、事業ニーズや成立性の調査・検証、導入機能や施設の絞り込み等の検討を行いました。	4	
【関係機関との連絡調整】 空港跡地第 1 及び第 2 ゾーンの土地利用等について、国・東京都・区が共同で策定する「羽田空港跡地まちづくり推進計画(仮称)」の検討を行いました。	4	

決算額	0 円
次年度以降の主な取り組み	
<p>「(仮称)羽田空港跡地整備計画」を策定し、跡地の具体化に向けて検討を進めます。関係機関との協議・調整を進め、「羽田空港跡地まちづくり推進計画(仮称)」を策定します。</p>	
<p>「にぎわいのある文化交流拠点の整備」「世界へ発信する産業支援拠点の整備」「水と緑のふれあいゾーンの整備」は一体的に取り組んだため、取り組み内容等が同一の内容となっています。</p>	

計画事業名	海上公園の移管整備						
主な取組内容	臨海部にある公園のあり方や整備内容について検討を行うとともに、東京都港湾局所管海上公園の移管や再整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
臨海部公園整備計画の検討		→					
港湾局移管公園の整備			→				継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 21 年度の取り組み内容		進ちよく状況
【臨海部公園整備計画の検討】 海上公園の現地調査（2回）を実施したほか、東京都港湾局と調整を行い、東京都港湾局が所管する海上公園（昭和島南緑道公園）に関し、区への移管に向けた具体的な協議を行うことを決定しました。		4
決算額	0 円	
次年度以降の取り組み	臨海部公園整備の検討を進めるとともに、港湾局所管の海上公園移管に向けて協議を進めます。	

計画事業名	海辺の散策路整備						
主な取組内容	海老取川から平和島運河周辺、さらに京浜運河周辺など、臨海部の埋立地を結ぶ緑のネットワークの形成を図るため、水とみどりの拠点整備や散策路整備の検討を行い、関係機関と協力しながら整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
臨海部における散策路のあり方検討		→					
散策路計画及び整備手法の検討				→			散策路・拠点整備 検討

所管部局	都市基盤整備部	
平成 21 年度の取組み内容		進ちょく状況
【臨海部における散策路のあり方検討】 現況調査（3回）を実施し、庁内で海辺の散策路の整備に向けた検討を行い、計画的な整備のための基礎資料を作成しました。		4
決算額	4,830,000 円	
次年度以降の主な取組み	臨海部における散策路のあり方の検討を進めるとともに、散策路計画・整備手法の検討を進めます。	

計画事業名	空港臨海部将来構想の検討						
主な取組内容	臨海部の将来構想を策定し、構想に基づいた土地利用の誘導を図ります。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
空港臨海部将来構想の検討、策定		→					
空港臨海部将来構想に基づいた土地利用の誘導			→	→	→	→	継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 21 年度の取組み内容		進ちょく状況
<p>【空港臨海部将来構想の検討、策定】</p> <p>庁内検討会（3回）、有識者委員会（4回）、グランドビジョン素案の地元説明会（3回）を開催し、空港臨海部グランドビジョンの素案を作成しました。</p> <p>素案についてパブリックコメントを実施（意見数 40 件）したほか、公開シンポジウムを開催（参加者 121 人）しました。</p> <p>平成 22 年 3 月に「空港臨海部グランドビジョン 2030」を策定しました。</p>		4
決算額	24,569,650 円	
次年度以降の主な取組み		
<p>羽田旭町地区で現在計画が進んでいる民間大規模開発については、引き続き地元と連携し、周辺地域への交通・環境等の負荷軽減やまちづくりへの協力を求めるため、開発者に積極的な働きかけを行います。</p>		

当事業は、別の未来プラン事業である「交通ネットワークの検討」(P.78)と一体的に取り組んだため、取組み内容が同一の内容となっています。

計画事業名	交通ネットワークの検討						
主な取組内容	臨海部の交通ネットワークについて、観光側面も考慮しながら、道路網、公共交通機関、舟運を含めた新たな交通システムの検討を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
空港臨海部将来構想の検討、策定		→					
空港臨海部将来構想に基づいた交通ネットワークの検討			→				継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちょく状況	
<p>【空港臨海部将来構想の検討、策定】</p> <p>庁内検討会（3 回）、有識者委員会（4 回）、グランドビジョン素案の地元説明会（3 回）を開催し、空港臨海部グランドビジョンの素案を作成しました。</p> <p>素案についてパブリックコメントを実施（意見数 40 件）したほか、公開シンポジウム（参加者 121 人）を開催しました。</p> <p>平成 22 年 3 月に「空港臨海部グランドビジョン 2030」を策定しました。</p>	4	
決算額	0 円	
次年度以降の主な取り組み	<p>羽田空港と蒲田駅等を結ぶシャトルバスの早期実現に向けて、関係者との調整を図ります。</p> <p>臨海部の交通ネットワークについて、空港臨海部将来構想（空港臨海部グランドビジョン 2030）との整合を図りながら、現状把握と検討を行います。</p>	

当事業は、別の未来プラン事業である「空港臨海部将来構想の検討」(P.77)と一体的に取り組んだため、取り組み内容が同一の内容となっています。

決算額については、重複を避けるため 0 円としています。

計画事業名	工場の立地・操業環境の整備						
主な取組内容	区内工場の立地・操業環境の向上のため、産業支援施設(賃貸工場、創業支援施設など)の整備・運営を行い、事業の拡張や高度化のために行う事業に対しては、経費の一部を助成します。また、区が工業用地を取得し、その活用の展開を図ります。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
産業支援施設指定管理者*による運営・支援		→					継続
ものづくり工場立地助成		→				検証	継続
工業用地再開発支援(用地取得、活用検討)		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちよく状況	
【産業支援施設指定管理者による運営・支援】 産業支援施設指定管理者による賃貸工場・創業支援施設等のモニタリング評価を実施しました。	4	
【ものづくり工場立地助成】 事業の拡張や高度化を図る企業に、経費の一部助成（15 件）を実施しました。	4	
【工業用地再開発支援（用地取得、活用検討）】 当該用地の土中から汚染物質が検出され、その除去のために土壌置換工事を実施しましたが、当初想定以外の地点の土壌置換が必要となり、コストが事業としての許容範囲を超えることになったため、当該用地での事業実施を中止しました。	1	
決算額	320,191,258 円	
次年度以降の主な取り組み		
<p>産業支援施設指定管理者による運営・支援については、モニタリング評価で、継続的にA及びB評価となるよう運営・支援します。</p> <p>ものづくり工場立地助成については、工業集積の維持・発展のため、助成制度の新たな活用方法を検討し、制度の拡充を進めます。</p> <p>工業用地再開発支援については、用地取得の情報収集・検討を進めます。</p>		

計画事業名	新製品・新技術開発の支援						
主な取組内容	新規市場開拓等に向けて企業や企業グループが、新製品・新技術を開発する際に、企画・設計から試作・開発までに要する経費の一部を助成します。 大田区中小企業が開発した、優れた新製品や新技術を表彰することで技術力・開発力の向上意欲を醸成するとともに、大田区中小企業の技術力を広く内外にアピールします。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
補助金交付		→					検証
コンクール表彰		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちよく状況	
<b>【補助金交付】</b> 新製品・新技術を開発する支援策として、開発段階に応じた支援を実施しました。開発スタート助成(上限 200 万円)に 3 件(申請 7 件)、開発ステップアップ助成(上限 1000 万円)に 6 件(申請 33 件)助成を実施しました。	4	
<b>【コンクール表彰】</b> 新製品・新技術コンクールを開催し、受賞 9 社を決定、表彰しました。	4	
決算額	46,610,059 円	
次年度以降の取り組み		
新製品・新技術の開発内容や段階に応じた制度を検討、実施します。 漫画家たなかじゅん氏を特別審査員に新たに迎え、より多彩な観点で審査を行います。各受賞製品・技術を広く P R し、販路開拓に取り組みます。		

計画事業名	海外市場開拓支援						
主な取組内容	区内企業の優れた製品や技術を、アジアをはじめ世界に情報発信し、実際の取引拡大につながるような海外展開を支援します。諸外国・地域の政府機関、産業関連機関、企業団体との交流を積極的に進め、区内企業に対して情報提供等の支援策を実施します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
海外展開支援		→					検証
情報提供等の実施		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 21 年度の取組み内容	進ちよく状況	
<b>【海外展開支援】</b> 企業の取引拡大につながるような海外展開を支援するため、オオタテクノパークへの入居支援・相談（10社）を行いました。 企業によるタイへの市場調査・発注開拓に同行支援（5社）したほか、上海やタイにおける見本市への出展支援（7社）を行いました。	4	
<b>【情報提供等の実施】</b> 海外取引相談（423件）、翻訳支援（34件）を行ったほか、海外市場調査（中国6都市、タイ5都市、ベトナム3都市）を実施しました。	4	
決算額	18,863,820円	
次年度以降の主な取組み		
年々成長・拡大を遂げる中国市場への参入を見据え、中国向けの大田区産業振興協会サイトを開設、事業PR等を実施します。 さらに、東北部、華東、華南の3地域を対象に、「市場調査」及び「中国企業との連携のあり方調査」を実施し、事例を収集・整理・分析のうえ、汎用性の高い中国市場へのアプローチ方法を提案します。		

計画事業名	次世代ものづくり人材の育成						
主な取組内容	小中学生を対象としたものづくり実践教室、産業のまちスクール、子ども起業家育成セミナーを実施し、ものづくりへの興味・関心を促す事業を行います。産業団体の実施する経営・技術指導講習会への補助をはじめ、若者と中小企業のマッチング、次世代経営者育成セミナーなどの人材育成事業を実施します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
講座・セミナーなどの開催		→					検証
講習会などへの補助		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちよく状況	
<b>【講座・セミナーなどの開催】</b> ロボット教室（参加者延べ 140 人）、産業のまちスクール（参加者 44 人）を開催しました。 技術指導講習会（参加者延べ 112 人）、次世代経営者育成セミナー（参加者 12 人）、若者と中小企業とのマッチングフェア（参加者約 1,000 人）、プレ就職面談会（参加者 69 人）を開催しました。	4	
<b>【講習会などへの補助】</b> 人材育成のため、産業団体が実施する経営指導講習会等への助成（45 件）を実施しました。	4	
決算額	24,637,901 円	
次年度以降の主な取り組み	より効果的な事業展開を行うため、ロボット教室や技術指導講習会等の講座やセミナーを統合し、「次世代ものづくり人材育成事業」として実施します。 小・中学生には、ものづくりへの動機付けを行い、若い技術者には、高度な技術習得の機会を提供できるよう、子どもから大人までのつながりのある、ものづくり人材の育成支援を行います。	

計画事業名	商店街景観整備事業						
主な取組内容	商店街関係者、地域住民、NPO*、コンサルタントなどにより協議会を組織し商店街の役割を見直し検討するとともに、歴史や文化に特徴を持つ商店街の景観整備を行い、にぎわいのあるまちづくりを進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
候補地A 協議会設立、実施計画検討・策定・実施		→					
候補地B 協議会設立、実施計画検討					→		検証

所管部局	産業経済部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちよく状況	
<p>【候補地 A 協議会設立、実施計画検討・策定・実施】</p> <p>大田区商店街連合会へ商店街の役割等の検討を踏まえた実施計画策定の支援を行いました。</p> <p>その結果、近隣住民と協議会を設置し、歴史・文化に関する勉強会や景観を意識した商店街づくりの検討等を行っている大森本町ミハラ通り北商店会、大森ミハラ通り仲町商店会、ミハラ南商店街振興組合、するがや通り商店会が平成 22 年 3 月に景観整備候補商店街として選定されました。</p>	4	
決算額	3,660,000 円	
次年度以降の主な取り組み	平成 23 年度の整備事業開始に向けて、平成 22 年度に実施計画の策定作業を進めます。	

計画事業名	ふれあい商店街事業						
主な取組内容	商店街内に新たなコミュニティ*空間、高齢者に優しいまちを創出するため、商店街会館及び空き店舗などを活用します。お休み処・トイレなどを整備し、来街者のために開放します。提供する商店街に対しては、運営費の一部を補助します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
実施商店街		2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	検証

所管部局	産業経済部	
平成 21 年度の取組み内容	進ちょく状況	
<b>【実施商店街】</b> 矢口の渡商店会、日の出銀座商店街にお休み処を開設しました。 既に開設している雑色商店街、長原商店街とあわせて、4 つの商店街に、運営費の一部助成を実施しました。	5	
決算額	9,859,400 円	
次年度以降の主な取組み		
平成 22 年度に、梅屋敷東通り商店街振興組合でお休み処を開設します。		

計画事業名	商店街イベント・機能向上の支援						
主な取組内容	商店街が自ら企画し実施するイベントや商店街の機能向上のための事業に対して、必要な経費の一部を助成します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
商店街への助成事業実施							検証

所管部局	産業経済部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちょく状況	
<b>【商店街への助成事業実施】</b> 商店街が自ら企画し実施するイベント事業（117 事業、72 商店街）及び商店街が行う活性化事業（14 事業、14 商店街）に助成を実施しました。	4	
決算額	168,797,000 円	
次年度以降の主な取り組み		
<b>【商店街への助成事業実施】</b> 平成 22 年度に、イベント事業は 94 商店街で 125 事業を、活性化事業は 10 商店街で 10 事業を支援します。		

計画事業名	おおた商い観光展の開催						
主な取組内容	広く区内外の商業者等に呼びかけ、各地域の銘品・逸品(食品・工芸品など)の展示・販売を行うとともに、区内の観光情報の発信や逸品認定発表を行い、「大田区の観光資源」を全国に向けて発信する「おおた商い観光展」を開催します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
おおた商い観光展の開催		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 21 年度の取組み内容	進ちよく状況	
<p>【おおた商い観光展の開催】</p> <p>平成 21 年 10 月に区の観光資源を全国に発信する「おおた商い観光展」(来場者延べ 7,252 人)を開催しました。</p> <p>観光・観光関連産業・特産品等について、120 の商店・企業・団体が出展したほか、「おおたの逸品商品の認定発表」、「大田区商店街グランプリ」等、各種イベントを開催しました。</p>	4	
決算額	15,516,645 円	
次年度以降の主な取組み	<p>羽田空港の国際化によって、大田区の産業全体のグローバル化の機会を捉え、世界の人・もの・情報の交流の場として、大田区の産業・商業振興に結びつく展示会となるよう取り組みます。</p>	

計画事業名	サービス業実態調査とマッチング支援						
主な取組内容	情報サービス、物流サービス、専門サービス(コンサルティング、財務、法務)などビジネスを支援するサービス産業や、区民の生活を応援する生活関連サービスに関する調査を実施し、その活動状況や課題を把握します。その上で、製造業や商業の顧客獲得や生産性の向上、区民生活の利便性の向上に貢献するサービス産業の支援を検討します。また、ビジネス支援・生活関連サービス分野のNPOや社会起業家の活動の把握・支援を検討します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
実態調査の実施、支援策の検討		→					
ビジネス支援サービス・生活関連サービス業の支援の実施				→			検証
NPO・社会起業家の活動状況の支援の実施				→			検証

所管部局	産業経済部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちよく状況	
<p>【実態調査の実施、支援策の検討】</p> <p>サービス産業に対する支援策を検討するため、対事業所サービス業（143社）、生活関連サービス業（190社）の事業所を調査員が直接訪問して、対面による方法で調査を実施し、その活動状況や課題を把握しました。</p> <p>サービス業に対する調査と併せて、ものづくりパートナー探しや取引促進に資するため、区内各企業の主な製品・加工技術、得意分野等を調査し、中小企業アクセスデータを作成しました。</p>	4	
決算額	15,435,000 円	
次年度以降の主な取り組み	平成 21 年度に実施したサービス業実態調査の結果に基づき、各分野別のサービス業の状況、課題等を整理し、行政としての支援策を検討します。	

計画事業名	にぎわいを生み出すスポットづくり						
主な取組内容	観光推進団体と連携しながら、区内の面白スポットなどを発掘し、新たな観光コースとして紹介することで、観光資源として活かしていきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
スポットの発掘・整理		→					検証
新たな観光コースづくり		→					検証
観光コースのPR		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 21 年度の取組み内容		進ちょく状況
<b>【スポットの発掘・整理】</b> 蒲田エリアは、黒澤商店、松竹キネマ等を蒲田モダンとして「かまた散歩」(100,000部)で、大森・羽田エリアは、大森から羽田に至る海岸線の変遷を「海岸線うつりかわり地図」(50,000部)で広く紹介し、新たな観光コースづくりに取り組みました。		4
<b>【新たな観光コースづくり】</b> 同上		4
<b>【観光コースのPR】</b> イベント(商い観光展、OTAふれあいフェスタ、羽田空港国際化記念事業)でPRを実施しました。		4
決算額	1,920,000 円	
次年度以降の主な取組み		
歴史、文化、水やみどり等、大田区の多岐にわたる観光資源について、関係機関や各方面の方々とともに見出していきます。		

計画事業名	ものづくりのまち体験ツアーの実施						
主な取組内容	観光推進団体と連携し、区内の工場の協力を得て、観光客がものづくりを体験できる環境を整備し、「ものづくりのまち体験ツアー」を開催します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
事業化に向けた検討		→					
体験ツアーの実施			→				検証

所管部局	産業経済部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちよく状況	
<b>【事業化に向けた検討】</b> 大田観光協会、首都大学東京と協働で、約 30 の企業にヒアリング方式で、工場の基本情報、技術や製品、地域との関係、産業観光・ものづくり観光に関する「大田区産業まちづくり基礎調査」を実施し、「おおた工業フェア」で調査結果を発表しました。	4	
決算額	1,500,420 円	
次年度以降の主な取り組み	平成 21 年度に実施した大田区産業まちづくり基礎調査の結果に基づき、大田区の魅力をアピールする方法を検討します。	

計画事業名	シティセールス*の実施						
主な取組内容	羽田空港の国際化に対応するため、空港乗り入れ都市(海外を含む)などに対し、多言語で大田区の観光資源を情報発信していきます。また、区内の観光情報をPRするため、積極的にメディア展開をしていきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
区内情報のPR		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 21 年度の取り組み内容	進ちよく状況	
<p>【区内情報の PR】</p> <p>大田観光協会が行う観光情報誌「いろはなおた」(上下巻各 6,000 部)の発行、いきいき大田写真コンクールにおける部門賞新設(空港・ものづくり・観光の 3 部門)及び作品展示(アプリコ)について助成を実施しました。</p> <p>品川・大田地域観光まちづくり推進協議会による「しながわ大田観光マップ」(100,000 部)の作成や、つまみ食いウォーク(参加者約 4,200 人)、観光ガイド研修(12 回、参加者延べ 297 人)の開催について助成を実施しました。</p> <p>おおた商い観光展、OTA ふれあいフェスタ等のイベントで大田区の色々な魅力を PR しました。</p>	4	
決算額	6,059,580 円	
次年度以降の主な取り組み	<p>大田観光協会が行う観光情報誌の発行、観光マップの作成、既存マップの修正及び増刷(英語翻訳含む)について助成を実施します。</p> <p>品川・大田地域観光まちづくり推進協議会による「羽田・品川駅からマップ」の更新及び多言語化、つまみ食いウォーク、羽田空港国際化記念事業プロモーションキャンペーン、観光ガイド研修の開催に対し助成を実施します。</p> <p>大田観光協会が行うおおた商い観光展、OTA ふれあいフェスタ等のイベントで大田区の色々な魅力を PR する事業へ助成を実施します。</p>	